

# 会議要録

会 議 名	旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第5回）				
日 時	令和4年（2021年）2月4日（金） 18:00 ～ 19:30				
場 所	リモート開催				
出席者氏名	参加者	明星大学	◎ 西浦 定継	八王子市商店会連合会	深沢 靖彦
	◎座長	工学院大学	○ 野澤 康	多摩信用金庫	岡本 彰子
	○副座長	拓殖大学	工藤 芳彰	東日本旅客鉄道株式会社	筑井 裕之
		八王子商工会議所	宮瀬 睦夫	京王電鉄株式会社	小野 正浩
	事務局	拠点整備部長	中邑 仁志	市街地整備課主査	丹澤 智行
	市街地整備課長	大山 崇	市街地整備課主査	下平 忠幸	
	市街地整備課課長補佐兼主査	曾我 浩司	市街地整備課主事	久野 麻里	
	市街地整備課課長補佐兼主査	逸見 洋平			
	日建設計総合研究所	竹村 登			
	日建設計総合研究所	藤田 朗			
	日建設計総合研究所	田 紳華			
	産業振興部長	瀬尾 和子			
	産業政策課長兼 MICE 推進担当課長	立川 寛之			
議 題	1 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想<改定版>について 2 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の実現化に向けた取組について				
公開・非公開の別	非公開				
非公開理由	リモート開催のため				
傍聴人の数	なし				
配付資料名	資料1 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想<改定版>（素案）についてのパブリックコメント実施結果（案） 資料2-1 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想（案） 資料2-2 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の変更点 資料3 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の実現化に向けた取組について				

## ■議題1 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想<改定版>について（資料1, 2-1, 2-2）

### 【事務局】

- ・資料に基づき、説明

### 【明星大学 西浦座長】

- ・パブリックコメントでは、ゾーニングのこと、都市型広場に関すること、構想対象区域内に住んでいる方も含めて議論したほうが良いという意見や、構想を評価する意見等、様々な意見が寄せられた。

### 【多摩信用金庫 岡本氏】

- ・全般的に、パブリックコメントの意見を構想に溶け込ませている印象を持った。
- ・防災に関して、1頁及び8頁に追記されたが、その間の頁に記述がない。4頁の「改定の視点」や3頁の「まちづくりを取り巻く近年の動向」などに、防災性の重要度が高まってきているといった記述を入れると良いのではないかと。

→【事務局】

- ・市としても、防災性は重要と考えており、1頁に「安全・安心なまちづくりの推進」を追記した。頂いたご意見を踏まえ対応について検討したい。

【八王子市商店会連合会 深沢氏】

- ・広場ができることによって、より多くの方が駅周辺に集まるだろう。9頁の都市基盤整備の方針に、防犯の視点を加えてもらいたい。

→【事務局】

- ・パブリックコメントでも意見を頂いており、防犯の重要性は認識している。本地区は、八王子の玄関口であり賑わい・交流を促すことが必要なエリアである。一方で、防犯の視点については、推進すべき事項であるが、まちづくり全体で捉えていく必要があると考えていることから、1頁の「はじめに」にて防犯を含めて「安全・安心なまちづくりの推進」を追記した。

【八王子商工会議所 宮瀬氏】

- ・「保健所の跡地だけでは広場は小さい」というパブリックコメントの意見があった。「産業交流センターの屋根下広場と一体的に利用することや、道路空間も含めることで広場はもっと広い」ということを書いてはどうか。まだ東京都と調整中かと思うが、検討していきたいという表現は書いて良いのではないか。都市型広場に関しては市民から希望もたくさんあるため、広場はもっと広いと書いたほうが良いと思う。また、広場の利活用についてももう少し記載してほしい。

→【事務局】

- ・産業交流センターの屋根下広場との一体的な活用も検討しているが、東京都の管理施設であり調整中であることからまちづくり構想への記載は検討したい。広場の活用については重要視しており、資料3に取組を記載している。

【八王子市商店会連合会 深沢氏】

- ・「広場は4,000㎡以上必要ではないか」という意見もある。保健所跡地だけでは広さが2,000㎡である。要望ではあるが、広場につながる屋内スペースを再開発エリアに設けると広場が広くなり、より活用できるのではと思う。

→【事務局】

- ・再開発事業の検討の中で、頂いたご意見を参考にする。

【拓殖大学 工藤先生】

- ・住民説明会に参加して、生の声を聞いた。パブリックコメントで防犯・防災に関して、広場の防犯対策を求められているように感じるが、空間づくりだけで犯罪を抑制するのは難しい。単純に警備の人や巡回の頻度を増やすなどの取組も考えられるが、既存の施策との連携を書き込むと良いのではないか。例えば、周辺の避難施設との連携などである。まちづくり構想に基づく空間整備だけでは、防犯対策は難しいため、記述は慎重に考えたほうが良い。

【明星大学 西浦座長】

- ・防犯カメラをつけるということもできるのではないか。

→【事務局】

- ・人の目によって安全を確保していくという考え方もある。店舗が増えることで人の目が増え、結果として防犯・安全につながるという考えである。

## ■議題2 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の実現化に向けた取組について（資料3）

【事務局】

- ・資料に基づき、説明

【八王子市産業振興部長】

- ・八王子市における産業振興に向けた取組等について説明

【八王子商工会議所 宮瀬氏】

- ・商工会議所で提案した MICE 都市について追記してほしい。また、市、商工会議所、観光コンベンション協会と産業交流センターの指定管理者のつながりがないため、産業交流を進めるためにも4者での連絡会談を設けた方が良い。
- 【明星大学 西浦座長】
  - ・資料3の5頁に都市型広場の体制案があるが、それと似たような形で MICE 推進に関する組織をつくるということか。
- 【八王子商工会議所 宮瀬氏】
  - ・そのとおりである。
- 【事務局】
  - ・「MICE 都市」の追記について、検討する。
  - ・都市型広場の活用検討として体制案を記載している。産業振興や都市基盤といったテーマごとに、メンバーを変えて話し合う場を設けることも検討したい。

【拓殖大学 工藤先生】

- ・4頁のインキュベーション施設について、産業交流センターの中ではなく、再開発事業内に整備されること、また、整備されることにより周辺地域の産業が活性化することと認識しているが、現状では産業交流センター内に設置される旨に捉えられる。
- ・インキュベーション施設の運営については、コンソーシアム形式のような組織を作るべきだろうと思う。そこには商工会議所のようなプロ集団だけではなく、多様な人が参画したほうが良いと思う。ワーキンググループのような形で、分野1、2、3それぞれを担当するグループとして、若い人や新しい分野の人などを入れていくと風通しが良くなるのではないか。
- 【事務局】
  - ・取組の記載の表現について、検討する。
  - ・コンソーシアムといった形式も含め、組織設立の検討の中で、頂いたご意見を参考とする。

【工学院大学 野澤先生】

- ・概ね整理されてきた印象である。
- ・6頁のウォークブルについて、歩くことだけに特化しないほうが良いのではないか。車と歩行者を比べたら歩行者を優先するが、これからの時代はその中間的な位置付けとなる、シニアカーなどのパーソナルモビリティと歩行者が共存できる空間づくりの取組が必要だと思う。最先端に行くような取組を記載してもらいたい。
- 【明星大学 西浦座長】
  - ・Maas も関係するか。
- 【工学院大学 野澤先生】
  - ・Maas はもっと大きい話のため、歩行者とシニアカーが共存できるような空間づくりが良い。高齢社会で、歩きと自転車のどちらでもない移動手段を求める人が増えてくると思う。
- 【事務局】
  - ・担当所管とも議論を深めていきたい。

【JR 東日本 筑井氏】

- ・資料3の3分野は相互に関連すると思う。例えば、都市型広場の検討で、周辺の歩きやすい空間は関係する。3つの分野の連携に関してはどのように取り組むのか。
- 【事務局】
  - ・先ほど、コンソーシアムの必要性に関する意見も頂いた。3分野の取組の連携について頂いたご意見も踏まえて、ふさわしい方法を考えていきたい。

【八王子商工会議所 宮瀬氏】

- ・資料3の1頁の八王子市の地区の強みの「観光資源」の前に、市の大きなイベントである「八王子まつり」を入れてもらいたい。

→【事務局】

- ・「八王子まつり」を追記する。

【拓殖大学 工藤先生】

- ・3つの優先的取組だけでなく先を見据えて幅広いメンバーで、コンソーシアムを作ったほうが良いと思う。

→【事務局】

- ・メンバーについても、組織設立の検討の中で、頂いたご意見を参考とする。

【多摩信用金庫 岡本氏】

- ・4頁の産業支援の優先的取組として、インキュベーションやコンサル機能の導入とあるが、市は以前から創業支援等に取り組んでおり、民間の創業支援施設も周辺に増えている。インキュベーション施設を導入するより、市の事業であれば産学連携など、他のことを優先的に取り組んだほうが、八王子らしさが光るのではないか。例えば、ものづくりに関して大学と研究機関が連携して、技術・サービスを磨き上げることなどが考えられる。

→【拓殖大学 工藤先生】

- ・市は、産業交流センターに関連した取組から始めたいと考えていると思う。産業交流センターができることで、市外から多様な人が訪れるため、八王子市内をつなぐ窓口の位置づけと認識している。

→【事務局】

- ・そういったことも可能になる。また、再開発事業で、市として産業支援機能の導入の可能性もあることから、優先的取組として挙げている。また、取組の優先順位については、まだ検討の余地があると考えている。

【京王電鉄 小野氏】

- ・分野3の駐車場の地域ルールは是非導入してほしい。開発や建替え時に、貴重な建物の一階部分が駐車場になって賑わいが途切れてしまうケースが多い。今後、様々な建物の更新が出てくる中、できるだけ先行して地域ルールを導入してほしい。

→【事務局】

- ・駐車場の地域ルールを検討していきたい。

【明星大学 西浦座長】

- ・資料3で、大きなコンソーシアムを作って分科会を設けて活動するのはどうかという意見があった。修正に当たっては委員に確認してもらいたい。
- ・ウォークابلに対する意見についても検討してもらいたい。
- ・イノベーション創出の取組は、多摩、日野なども取り組んでいる。八王子市もできるところは着実に一歩ずつ進めていく必要がある。

【事務局】

- ・八王子市として、まずはどのような取組を行っていくか示していくことが重要と考えている。魅力的な取組にしていきたい。取組案については、皆様の意見を踏まえ、再度検討する。